

令和5年度

北海道教育大学

附属函館幼稚園だより

NO. 5【号】



あっという間の1学期！！

副園長 藤谷 貴代

4月の雪解け、5月の春の陽ざし、降り出すと大雨の6月。そしてじわじわと暑さが募っていった7月。季節の移り変わりを感じる中、子供たちは毎日歓声を上げながら楽しく遊び込んでいました。そんな一学期も本日で終了です。明日からは、待ちに待った夏休みです。

4月には個性豊かに自己主張をしていたはな組さんも、今ではお友達を気遣い、みんなのことを考えて行動することが出来るようになってきましたね。3ヶ月半の短い期間でも、こんなにも成長するのだと改めて感心させられます。本日も、上手に並んで終業式に参加できました。立派でしたよ。

つき組さんは、4月には年下のお友だちが入ってくると、お兄さんお姉さんとして意気込んでお世話をしていました。今では、気張らず自然な形で接しており、「お世話する方・される方」という関係から、「一緒に遊ぶ仲間」と変化しています。その様子は、見ていて、「ほっこり」と心が温かくなります。

そして、ゆき組さん！お誕生会の司会や進行を始め、ほとんどの行事で中心となり、みんなのために頑張ることの出来るようになっていく姿は、本当に立派です。特に、先日の宿泊保育の、『自分から進んで活動する姿』は、幼稚園中の皆に見てもらいたいと思いました。今後更に成長し、3月にはどんな姿で卒園するのか、今から楽しみですね。

今学期はこれまでと変わり、新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため活動の制限が解除され、色々な事柄が再開されました。保護者の皆様には、過去4年間と異なることから、様々なご負担をかけたことかと存じます。今後もどのように活動したら良いか、過去の経験とこの4年間の経験を融合させながら探っていきたいと考えています。そのためにも、保護者の皆様のご意見を傾聴し対話しながら各行事を進めていきたいと考えております。2学期もどうぞご協力下さいますようお願い申し上げます。

また、先日も降園時に御挨拶いただきましたが、7月18日(火)より、本園のはな組教諭として勤務しております宮崎祥子から一言御挨拶をさせていただきます。

この7月より、はな組を担当となりました宮崎祥子と申します。お子様を大切に思いながらの保育を心がけて参りたいと思います。また、自分で考え行動できる基礎を幼児期に身につけられるように、お子様を援助し幼稚園生活が楽しくより有意義に過ごせるように努力してまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。